

第49回日本美容外科学会総会・第157回学術集会

共催セミナー

スポンサードセミナー 1

# 美容医療の次なる成長戦略

## —「時短美肌」×「睡眠QOL」—

～エキスパートが解説する  
“タイパ時代の毛穴&艶肌レーザー”と  
“話題のいびき治療クリニックの実践モデル”～



2026年11月5日(木曜日)  
9時50分～10時30分



第3会場【Ocean】

沖縄「琉球ホテル&リゾート名城ビーチ北棟3階」

座長・演者

宮田 成章 先生

みやた形成外科・皮ふクリニック



演者

木村 真聡 先生

スリープメディカルクリニック



SPS1-1

Fotona Dynamis シリーズが拓く次世代肌治療  
～Fotona 4Dから Mirajet、そしてさらなる新展開～

SPS1-2

睡眠 × 美容 × QOL をつなぐ  
低侵襲レーザーいびき治療の現在地

Fotona  
choose perfection



お問合せ

Fotona Japan 株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2-4 浜松町シミズ産業ビル 3F

Tel: 050-1808-8700 〓: info@fotonajapan.co.jp

Fotona.com

公式 IG



共催：第49 回日本美容外科学会総会・第157 回学術集会／Fotona Japan 株式会社



## 第49回日本美容外科学会総会・第157回学術集会

【スポンサードセミナー 1】11月5日(木) 9:50-10:30 第3会場【Ocean】

Fotona  
choose perfection

### 美容医療の次なる成長戦略 —「時短美肌」×「睡眠QOL」

～エキスパートが解説する“タイパ時代の毛穴&艶肌レーザー”と、“話題のいびき治療クリニックの実践モデル”～

座長：宮田 成章(みやた形成外科・皮ふクリニック)

共催：Fotona Japan 株式会社

#### SPS1-1 Fotona Dynamis シリーズが拓く次世代肌治療 ～Fotona 4D からMirajet、そしてさらなる新展開～

みやた形成外科・皮ふクリニック 院長 宮田 成章 先生

Er:YAG とNd:YAG レーザーの2つの波長を搭載するFotona社のSP Dynamisシリーズを用いたRejuvenation治療は、Fotona 4D と称される4つのレーザーモードを適宜組み合わせた手技が広く行われている。その中でも非蒸散Er:YAGレーザー照射を行うsmooth mode による口腔や眼瞼粘膜からの治療は特徴的であり、当院において多用してきた。さらに近年ではMirajet アプリケータを装着し、レーザーによる衝撃波を利用してPDLLAなどの薬剤をジェット噴射し微細な組織内剥離を伴って効果を得るニードルフリー・ジェットインジェクターとしても使用可能となり、治療の幅が広がっている。

また本機器は多彩なパルス幅や出力で発振できるため、さらなる発展が期待できる。当院でも短いパルス幅、高いピークパワーのMSP modeを低エネルギー、高繰り返しHzで用いることによって非蒸散でかつ皮膚の浅い層に十分なエネルギーを与えてSkin Glowを得る試みを行なっている。

他にも新しいパルス幅の組み合わせなどによって次世代のRejuvenation、「美肌」治療が提案できると考える。本講演では、当院で行なってきた治療から将来期待される治療まで、基礎から臨床までを交えて解説してみたい。

##### ■略歴・資格■

平成2年 防衛医科大学校卒業。卒後、防衛医大形成外科及びその関連施設にて研修・勤務。その後、札幌医大形成外科勤務。この間、美容外科クリニックにて美容外科の研修。平成9年、市立室蘭総合病院形成外科医長。平成12年、スキンケア・美容外科の啓蒙・普及を目指し、医療法人のもと虎ノ門形成外科・皮ふクリニック院長就任。

平成16年5月 医療法人の事業再編に伴い独立、みやた形成外科・皮ふクリニック開設。院長就任。

日本専門医機構認定形成外科専門医 / 日本美容皮膚科学会代議員 / 日本美容外科学会(JSAPS)評議員 /

日本創傷外科学会認定創傷外科専門医 / 日本抗加齢医学会会員 / 日本医学脱毛学会会員 / 医学博士

#### SPS1-2 睡眠×美容× QOL をつなぐ低侵襲レーザーいびき治療の現在地

スリープメディカルクリニック 医療統括医師 木村 真聡 先生

美容医療において「睡眠」は、肌質・疲労感・体重管理・メンタルヘルスなど多面的な美容課題と関連する重要テーマとなっている。SNSの普及に伴い、“切らないいびき治療” への関心も高まり、低侵襲かつダウンタイムの少ない自由診療として、美容クリニックにおける新たな治療ニーズが形成されつつある。なかでも、Fotona4D治療に代表される Fotona 社製レーザーは、タイトニングや若返り治療を目的として美容領域で広く使用されているが、その非蒸散性加熱によるコラーゲン収縮・リモデリング作用は、軟口蓋を中心とした上気道組織のタイトニングにも応用可能である。こうした作用を応用したNightLase®治療では、いびき症状や睡眠関連QOL改善が報告されている。

また、Er:YAGレーザーによる表層タイトニングに加え、Nd:YAGレーザーによる深部熱作用を組み合わせることで、上気道安定化への相乗効果も期待される。既存美容機器を活用できる点は、美容クリニックにおける導入障壁の低減という観点からも意義が大きい。本講演では、レーザーいびき治療の作用機序と既存エビデンスを整理するとともに、美容診療との親和性、SNS時代における患者ニーズ、導入設計、実際の集患戦略について、自験例を交えて報告する。

##### ■略歴・資格■

2004年、大阪大学医学部医学科卒業。卒後、大阪大学医学部附属病院、JCHO大阪病院 臨床研修。2006年-2016年、美容外科、美容皮膚科、およびレーザー医学における臨床業務に従事。2017年、レーザークリニック 総院長、最大全国26院のクリニックネットワークにおける医療統括およびクリニカルガバナンス(医療品質管理)を牽引。2020年、エトワールレーザークリニック 総院長、2院における医療運営および医療の質管理を統括。

2024年-現在、スリープメディカルクリニックグループ 医療統括医師。いびきのレーザー治療を中心に、全国13院のネットワークにおける医療業務、医師研修、臨床標準化を統括。

日本レーザー医学会認定医1種 / 日本抗加齢医学会専門医

本セミナーでご紹介いただく未承認医療機器を企業展示ブース(F)にて出展しております。ぜひお立ち寄りください！